

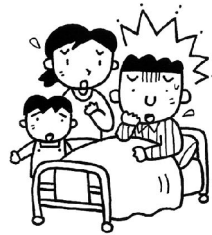
防災、福祉、中小業者に力を入れて、優しい市政を

図書館は民間ビルに間借り？阿寒湖にカジノ/誘致？ いったい市長は何を考えているのでしょうか？



図書館問題では、迷走に次ぐ迷走。福祉灯油も敬老祝い金もバツサリ。本当にひどいものです。国際バルク戦略港湾や鉄道高架の巨費の捻出のためには、福祉にも教育にもお金は回せないということなのでしょう。

そのうえ、阿寒湖の未来を賭博場に賭けようとカジノ誘致に躍起になっていきます。刑法で禁止され、ギャンブル依存症と自己破産を増やし、犯罪を誘発するカジノは、マリモヤアイヌ文化とは絶対に共存できません。



市民と一緒にがんばれば、市政は動かせる



津波の犠牲者はもう出たくない。西部地域は高層の市営住宅を造って、万が一のときは上層階に避難してもらおう。そう提案してついに新富士道住の向かいに新しい市営住宅の建設が始まりました。

初当選後の最初の議会質問は、「大雨のたびにあちこちで通行止。玄関先まで水が入ってくる。」という鶴野・星が浦の雨水の問題でした。足かけ14年、議会で何度も質問。とうとう河川改修と一体に抜本対策に乗り出すことになりました。公約実現まであと少し、必ず実現させます。

ます。市長が鳴り物入りで進めた阿寒病院の民営化。町民は有権者の過半数を大きく超える署名を集めて市政を追い詰め、村上議員の議会質問でついに断念させました。



村上議員の実績

放射能汚染が心配された震災がれきの受け入れを撤回させる。
学校給食センターに放射能測定器を導入。
阿寒町、音別町の地デジ、TVhの難視聴を解決。
過大投資が確実視された西港第5埠頭計画を削除させる。

市民の声に応える市議会を

村上議員は、年4回の定例議会ですべて一般質問に登壇、委員会でも多くの質問をして市民の声を議会に届けてきました。昭和中央土地区画整理組合の問題でも、住民団体と二人三脚で取り組んできました。共産党議員が増えれば、市民の声にもっと応えることができます。

一方、与党は福祉切り捨てにはいつでも賛成、消費税増税にも賛成です。民主党系会派にいたっては、フィットネスセンター廃止議案に12月議会では反対したのに、3月には賛成に豹変。こんなことでは、とても信用できません。



村上かずしげの4つ約束

効果の薄い大型開発頼みをやめて、中小業者、石炭、農漁業の支援を。住宅リフォーム事業を来年度以降も継続し、新たに商店版リフォーム事業をつくらせて、がんばる中小業者・商店街を応援します。TPPにきっぱり反対、農漁業を守ります。

「福祉の増進」こそ地方自治体の一番の仕事。要支援の介護保険はずしが強行されても、市の独自努力で、今のサービスを守ります。特養を100床増やします。こどもの医療費を中学校卒業まで無料にします。高すぎる国保料を1万円引き下げます。

平和こそすべての土台、釧路市を平和の発信拠点に。被爆70年、釧路空襲70年の来年を「釧路平和年」として様々な平和の取り組みを。安倍政権の集団的自衛権行使に反対し、憲法9条を守ります。

「市民の知恵」を総集して、福祉と教育を守りながら財政再建を。減債基金30億円を活用し、市民負担を軽減し福祉灯油を実施します。一部企業を優遇した不公平な税制と上下水道料金を改めさせます。身の丈を超える西港の拡張工事、鉄道高架は根本から見直します。

